**23. 間接疑問文 I don’t know who I am**

目標：タスクを通じて、間接疑問を用いた文を作れるようになる。

対象：中学３年生

時間：３０分

準備：ワークシート、カード

**このタスクの進め方**

○Pre-task

1. 教師同士で、間接疑問文を使いながら物語を口頭で導入する。

T1: I forgot my name, address, phone number and favorite actress.

 Please tell me who I am. I do not know who I am.

T2: Ok. Your name is Shunsuke Matsui. You live in Nagoya. Your phone number is 000.

T1: Thank you. I also want to know my favorite actress.

T2: Don’t you remember it? You liked the actress.

T1: Well, I do not remember what her name is.

T2: Her name is Satomi Ishihara.

T1: Oh, Isee.

2. 黒板に例文を板書して、疑問文の形と比較をしながら間接疑問文の意味と形を気づかせる。

○Task

1. ４人１組のグループを作る。その後、じゃんけんをして一番初めに勝った人は順番に、他の人に見せないように山札からカードを一枚引く。

2. 残りの3人でじゃんけんをし、勝ったひとから順にワークシートに書かれている問いをたずねていく。

3. 問いを聞いて得た情報から誰かわかったら手を挙げ、Is it~?と言う。答えを当てた人はそのカードをもらう。間違っていたら答えを確認し、カードを山札の横に置く。

4. 1~3の手順を繰り返し、一番多くカードを取れた人の勝ちとする。

**ワンポイント・アドバイス**

・タスクのやり方がわかりやすくなるように、タスク前に一度デモンストレーションを行うとよい。また時間制限を設けるとよい。